

統廃合含め検討を

八街市 小中学校13校あり方

八街市は、二州小学校沖分校を含む小学校9校と中学校4校について、統廃合を含め、あり方を検討する方針を示した。6月定例会で、浅尾智康・教育長は「八街南中学校区の児童・生徒数の減少が市内でも著しい」とした上で「検討委員会の設置や保護者・地域住民との意見交換会に加えて、市民の理解を得ながら丁寧に進めていく必要がある。児童・生徒に最適な教育の提供と登下校の安全の確保を最優先に、検討の体制づくりを進めていく」と語った。

土屋武志・教育部長は「教育委員会だけでなく市

し、「庁内全体で検討する」とした。

2020年3月に策定した「教育施設長寿命化計画」では、10年から40年までに児童数が約3割減少し、余剰教室の発生が見込まれている。そのため、長寿命化改修や大規模改造に際し、機能の複合化や施設の集約化などの可能性を探り、施設規模の適正化を検討するとした。

の動向を注視しつつ、道の駅の設置を検討する方針を示した。2022年に行われた市長選挙で道の駅の設置を公約に掲げ、また市民からは設置の要望や提案が寄せられている。

道の駅に関して「道路利用者への安全かつ快適な道路交通環境の提供と、地域振興などを目的に設置されている」と話し、道の駅を取り巻く環境として「国土交通省は、2025年度を

る。インバウンド観光、地域活動、広域的な防災といった機能の多様化が進んでおり、新たなにぎわい創出と地域経済活性化の場となっている」との認識を示した。

者を選定するための公募型プロポーザルを公告した。プロポーザルにおいて7月3日まで募集要項に関する質問書、24・28日に参加申込書の提出を求め、11月上旬にプレゼンテ

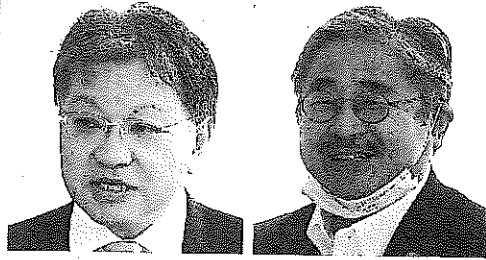
主流はリスクアセス

市原から死亡無災害を

市原市建設連合会協同組合（宮原茂朗理事長）と（一社）千葉県建設業協会市原支部（宮原茂朗支部長）の共催による「2023年度安全大会」が5月26日、市原市内の市原建設センターで開かれた。当日は、千葉労働基準監督署の市倉健人署長と市原警察署の濱田憲明署長らによるあいさつをはじめ、安全活動に対する理事長表彰、千葉労基署の石井孝雄「労働者」で、市貴・刑正「暴力団安全講習の採択が

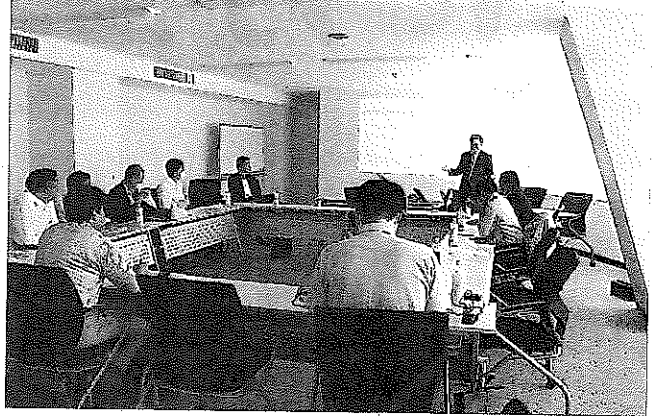
県コンクリート製品協組 業務効率化 方法理解を IT活用・DX化セミナー

千葉県コンクリート製品協同組合は29日、千葉県中小企業団体中央会の協力を受け、「第1回IT活用・DX化の進め方セミナー」を千葉中央駅前ビル5階会



講師の松井代表 寺田理事長

議室で開催した。参加者は9人。あいさつに立った寺田裕之理事長（㈱テラコン）は、資材価格の高騰や人手不足などの社会情勢に触れ、「製造業務の効率化に必要なDX化やIT活用に着手するための方法を理解する必要がある」との見解を示し、セミナーの意義



IT活用・DX化について解説した

松井淳・まついマネジメントオフィス代表が講師を務め、「IT活用・DX化の進め方およびノウハウなどの習得について」をテーマに

マに講じた。榎本典嗣・ウイズコンサルティンク法人代表ととも

に、経営の効率化に向け、IT活用・DX化を進めるための基礎知識やノウハウなどを解説するとともに、参加した各社の取り組み状況についてヒアリングを行った。

今後は、7月から12月にかけて、6回（月1回）にわたって各社へアドバイスをを行い、1月開催予定の第8回で総括する予定。



濱田・市原警察署長



市倉・千葉労基署長



宮原理事長

安全大会



安全表彰受賞者と働と余り「聴」害ト、明がてかり

安全大会」が5月26日、市原市内の市原建設センターで開かれた。当日は、千葉労働基準監督署の市倉健人署長と市原警察署の濱田憲明署長らによるあいさつをはじめ、安全活動に対する理事長表彰、千葉労基署の石井孝雄「労働者」で、市貴・刑正「暴力団安全講習の採択が

石井孝雄「労働者」で、市貴・刑正「暴力団安全講習の採択が

